

平成19年度 事務事業評価表		担当	産業環境部 観光課				内線等	1212
事務事業名	観光施設維持管理事業				事業コード	4 . 維持管理事業		
根拠法令等	蒲郡市観光施設の設置及び管理に関する条例				B 条例			

総合計画での位置付け

基本目標	5 . にぎわいと活力あふれるまちづくり	施策名	観光
------	----------------------	-----	----

事務事業の内容

対象（受益者）	市民及び観光客のために
手 段	観光施設を維持管理し
想定する成果	地域の観光振興をはかる

事業の概要

項 目	平成18年度実績	平成19年度実績	平成20年度計画
観光施設	91施設	91施設	91施設
維持管理費	28,362,006円	31,656,800円	32,000,000円
観光入込客数	7,140,172人	7,146,079人	7,300,000人

成果指標

成果指標名	観光客一人当たりの維持管理費
成果指標の説明	維持管理費 / 観光入込客数

事業の進捗状況 ( 一般 会計 ) (単位：千円)

		平成18年度決算（実績）				平成19年度決算（実績）				平成20年度予算（計画）			
成果指標		3.97円				4.43円				4.38円			
成果指標													
事業費	事業費	28,362				31,656				32,000			
	人件費	4,670				4,686				4,707			
	(人数)	正規	0.6	非常勤	0.0	正規	0.6	非常勤	0.0	正規	0.6	非常勤	0.0
	合計	33,032				36,342				36,707			
財源内訳	国												
	県												
	市債												
	その他												
	一般財源	33,032				36,342				36,707			

事務事業内容の評価

項目	課内評価		部長評価		評価の説明(問題点)
	19評価	16評価	19評価	16評価	
達成度	2	2	2	2	観光客の施設の維持管理に関する苦情も少なく、多くの観光施設がきちんと管理されているが、観光客数は一定である。
経済効率性	2	2	2	2	老朽化している施設が多い中で、ほぼ一定の費用で維持管理を行っている。
事務効率性	2	3	2	2	多くの観光施設で指定管理制度を導入し、成果をあげている。
必要性	3	3	2	3	観光施設がきちんと管理されていることが、観光地としての基本であり、観光がまごおりに是非必要な事業である。
小計	9	10	8	9	
施策への貢献度	3	2	2	2	観光施設管理と観光振興が観光施策の中心である。
合計	12	12	10	11	

達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	B	B	B	B	今後も観光施設はますます老朽化していくため今までのやり方では維持管理費用は増加していく。
------	---	---	---	---	--

総合評価は、A～Dまでの4段階評価

前回(H16評価時)「今後改善すべき点」として記載した内容及びその実施状況

前回(H16評価時に)記載した「今後改善すべき点」
老朽化していく施設の修繕などについて、観光客の動向をみながら優先順位をつけ、少ない費用で効果のある維持管理が必要である。
上記改善点の実施状況
施設を新たに改修することはさけ、修繕で対応することで、費用の節減を行った。

今後さらに改善すべき点

過去に設置され、維持管理費が多額になっている施設について施設規模の縮小などを検討してみる。
---

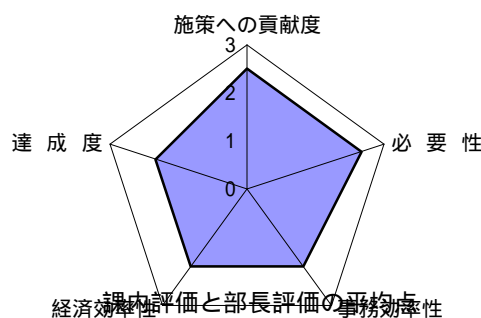
平成21年度予算に反映する項目

--

今後の方向性

<b>現状維持</b>
-------------

内部管理事務事業、義務的事業は必要性を、また施策名がその他のものは施策への貢献度を評価していません。



【各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載】